

89年の長い歴史に幕「十和田観光電鉄線鉄道終了式」 ありがとう、とついでついで



回送電車を手を振って見送る市民ら

3月31日、十鉄の愛称で親しまれた十和田観光電鉄線の鉄道が89年の長い歴史に終止符を打ちました。

この日は、朝から多くの市民や鉄道ファンが訪れ、電車に乗車し、記念撮影をする姿などが見られました。

午後5時から十和田市駅で行われた「十和田観光電鉄線鉄道終了式」では、十和田観光電鉄株の白石鉄右エ門取締役社長が「地域の皆さんに支えられ、本日まで無事に運行することができました。地元十和田市をはじめとする、全ての皆様に心から感謝申し上げます」と、感謝の言葉を述べました。

午後9時30分、名残を惜しむかのように雪が舞い散る中、最終電車が十和田市駅ホームに入りました。最終電車に乗り合わせた乗客からは出迎えた白石社長らに対し、「今までありがとうございました」と感謝し、涙ぐみながら積年の思い出を話す姿などが見られました。集まった約100人の市民らが見守る中、役目を終えた電車は静かに回送の途につきました。



涙ぐみながら白石取締役社長と握手を交わす乗客の姿が見られました



電車内は別れを惜しむ乗客で溢れていました



発車を見送る白石取締役社長ら（写真左）



電車内吊り広告には“愛する「とついでつ」にも「ありがとう」のメッセージが

